

とんぐい村の こみ・すく通信

令和3年8月10日発行 第8号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その5> <小々連携で>

更別農業高校へ行って酪農を学ぶ

7月2日、更別小学校3年生、上更別小学校3、4年生が更別農業高校の牛舎に行き、実際の酪農のことを学びました。

講師は更別農業高校畜産分会の生徒の皆さんたちです。「牛の胃は何個ある?」「牛の体温は?」など三択クイズにしたり、牛の歯の数を伝えるのに、子牛の歯を実際に見せたりするなど楽しく学べるように工夫されていました。



上手にしぼれているよ。

昨年に引き続き、牛乳の手しぼり体験をさせてもらいました。搾り方を教えてもらった後、実際に乳しぼり。「出た!」「あったかい!」など、本物の体験をしての感想が出ていました。



★手しぼりの後は、機械で乳しぼり
「乳牛は平均して一日1ℓパック30本~40本くらいのお乳を出してくれますよ。小学生の皆さんが牛に興味をもってくれたらうれしいです。」

更別村の農業「小麦」をテーマに 地域で活躍する先輩が講師

7月6日、更別中央中学校1年生が更別で栽培されている小麦について学びました。

現在推進されているスマート農業や小麦について、地域で活躍されている更中卒業生の更別プリディクション代表岡田昌宏さんからお話をお聞きしました。地域農業の将来について考える機会にもなりました。



ドローンが小麦畑まで飛び、映像を届ける。

まずは岡田農場に行き、ロボットトラクターと小麦を収穫するためのコンバインを見学。コンバインには小麦の収穫を評価できるセンサー機能がついているということでした。その後、ドローンを飛ばし、そのドローンから子どもたちが持ってきたタブレットに小麦畑の様子を映し出すこともしてみました。子どもたちは、興味津々の様子でタブレットを眺めていました。

次に更別農業高校が小麦4種類を試験栽培している圃場を見学しました。普段から小麦を育てている高校生が小麦の紹介等をしてくれました。



岡田さんの話によると、10年先にどんな小麦が必要とされているのかを予想し、小麦の品種改良をしていくそうです。最後に生徒が「小麦が好きになった。」と感想を述べていました。

スマート農業

トラクターの自動走行、ドローンによる防除など、データをもとに先端技術を活用する農業のこと。